

議会運営委員会報告書

平成26年12月17日

備前市議会議長 田 口 健 作 殿

委員長 橋 本 逸 夫

平成26年12月17日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
1 議長の諮問に関する事項についての調査研究 ① 議会のICT化について	継続調査	—

<その他>

- 市長への申し入れについて

議会運営委員会記録

招集日時	平成26年12月17日(水)		全員協議会閉会后	
開議・閉議	午前11時30分	開会 ~	午前11時45分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	委員長	橋本逸夫	副委員長	西上徳一
	委員	尾川直行		津島 誠
		掛谷 繁		星野和也
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	田口健作	副議長	守井秀龍
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	草加成章	議会事務局次長	入江章行
	議事係長	石村享平	議事係主査	青木弘行
審査記録	次のとおり			

午前11時30分 開会

○橋本委員長 ただいまの出席委員は6名全員でございます。定足数に達しておりますので、直ちに議会運営委員会を開きます。

まず、1点目の議会のICT化についてということでございますが、先ほどの全員協議会でも種々意見が出ておりましたが、備前市議会として議会のICT化を推進していくのか、推進するとなれば、それに伴い平成27年度の当初予算に関連予算の106万円を要求に盛り込むということでございます。それについての賛否を皆さんに聞きたいと思います。

どなたからでも結構です。賛成、反対を意思表示していただけたらと思います。

○尾川委員 私は、あくまでもそれはやりやあいと思うんですが、もっと慎重に計画を立ててやって、逗子市版までせんでもいいし、だからもう少し時間をかければいいと思います。

それともう一つ、なかなか発言のできない人にもやはり慎重に親切に対応することも、議会としては必要なんじゃないかなあと。

○橋本委員長 尾川委員は、予算要求については反対であるということによろしいですね。

ほかの方はどうですか。

○星野委員 予算要求はしておくべきだと思います。

理由は、単体でICT化するよりは情報共有のできる形に持っていくべきと思うからです。ソフトなどについては、Side Booksがいいのか、その他類似ソフトがいいのか、活用検討委員会でも設置して、今後検討していけばいいんじゃないでしょうか。

○橋本委員長 ほかにはどうですか。

○掛谷委員 全員協議会での御意見を聞くと、iPadを導入すること自体に全く反対というのはなかったと。もちろん意見の中では、慎重にもうちょっと様子をといったお二人の意見があったようです。あとは、特段に反対であるとかいうこともなかったようですし、私はやはりどうせやるならここで税金投入は106万円、年間で一人頭66,250円ですか、そんなにこれをちゃんと使わなかったら高いと思いますが、ちゃんと使って目的を達成するなら、私は安いと思います。そういう意味で、問われるのは、導入した場合、我々議員がしっかりと目的に沿った活用をきちんとするべきだと。やはり検討委員会をぜひ設置してやっていくべきだと思っています。

結論は賛成でございます。

○橋本委員長 ほかのお二方はどうでしょうか。

○西上副委員長 私も賛成の立場です。

これによって議員がレベルアップすれば、市民サービスも向上するんじゃないかと思います。

○橋本委員長 改めて、津島委員はよろしいですか。

○津島委員 備前市議会がタブレットがなかったなら前へいかんということはないと思う。あったほうがいいかもしれんけど、タブレット1台につき約6万円の血税が要るわけです。それを私は市役所内では持ちません。やはり逗子市とかなんかかんか言わずに、3万7,000人の人口

の、その市議会の身の丈に合ったものを導入するならいいけど、市長の提案で最初からタブレットタブレットとって、毎年100人ずつ子供が減るときに小学1年生から全員に持たすとか、そういうのを真に受けて議会が進むようじゃあ、私はこの議会のタブレットなどは何のことやわかりません。ただ、私はずっと反対しておりますけれど、3,000万円で防災タブレットを300台導入するのに説明会を開いたら、地元の協議会、民生委員、もう総すかんくらったですね、消防、防災の無線がありゃあいいのに、何でタブレットが要るのかと。それで余った分を議会へちょっと使うてもろうたらと宛てがってくれるんじゃないけど、私はそういうのはどうも好かんほうですから、私は市民の皆さんの大切な血税での16台導入には反対いたします。

恐らく私以外みんな賛成なんですから、通ると思うんですけど、要るんなら私費で購入して、もしも貸してもらった暁には、これは全て市の持ちものですから、何時何分からどこで何に使ったという、経費も全て、そういう管理をきっちり見せてもらいますから、私は。

以上です。

○橋本委員長 津島委員の意見が終わりました。

ただいまの結果、議会へのICT化を推進すると、そのために平成27年度当初予算要求に議会費として106万円を要求するというので、賛成の方が3名、反対の方が2名ということで、改めて挙手による採決は行いませんが、賛成多数ということで、この議会のICT化を推進するという方向で議会運営委員会では決定いたしたいと思います。

続きまして、2点目の次期定例会の予定についてということで、お手元に配付しております総括日程表でございますが、さきの議会運営委員会で星野委員より、常任委員会の開催の日程を交互開催にしてはという提案がなされ、このように修正をしてみました。これでよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、このとおりにいたしたいと思います。

その他で。

○尾川委員 議長にお願いがあるんですけど、今回の議会、電子黒板にしても、私は賛成したんですが、反対もあったので、議会としてはもう何回も計画性というのを言うてきとるし、委員会でもそういう意見が出てきとるわけですから、議会としてはっきり議長を通じて市長にトップ会談もあるんじゃないし、そういうのをきちっと伝えてください。

○橋本委員長 いや、ちょっと待ってください。

ただいまの尾川委員から提案がなされました。議長を通じて市長に対して口答でよろしいか。口答で注意喚起をするということでございますが、他の委員さんに反対がなければ、そのように議運から依頼をするということにしたいと思いますが、他の委員の皆さん、どうですか。

○津島委員 私は無意味だと思います。

○橋本委員長 するなということですね。

ほかの委員はどうですか。

○掛谷委員 尾川委員の言われることも、よく理解できます。ですから、やはり高額な補正が出てくる、それはそれ理由があるんでしょうけれども、やはり丁寧な説明というものを、ちゃんとお示ししていただいて、口答での細部説明だけで終わるのではなしに、全てはわからんとしても、概要ぐらいはやはり出していく、いわゆる議会は二元制ですので、議員が何のことかわからんと、ここはどうしてこうなんだという疑問が多くなると、これはやはり否決も十分あるわけで、それをやはり丁寧に説明する上でも、今、尾川委員が言われたことはごもっともなんで、私からもそのようにお願いします。

○橋本委員長 ほかの委員の皆さんも異存がなければ、そのように取り計らいたいと思います。

私、1点つけ加えていただければ、船舶の建造の債務負担行為、ああいったものもちゃんと公共交通会議等々で十分もんで、あるいは関係する委員会あたりには、ある程度の報告をしてから決定すべきだと思いますので、よろしければそれも追加していただきたいと思います。

議長からは、何か御意見ございますか。

○田口議長 そういう御意見が多いようですので、ぜひ正副議長にて市長のほうへ皆さん方の意見、意向を伝えさせていただきます。はい、ありがとうございます。

○津島委員 正副議長が市長室へ申し入れに行くと言われたんですけど、録音して聞かせていただきたいと思います。

○橋本委員長 そういう要望も出ましたので、ひとつ検討してください。

ほかに何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、以上で議会運営委員会を閉会いたします。

御苦労さまでございました。

午前11時45分 閉会